

57 ヒメヤマトオサガニ

(オサガニ科)

兵庫県ランク:B

Macrophthalmus banzai

環境省ランク:指定なし

種の概要

三重県から南西諸島にかけて分布する。有機質の多い軟泥干潟に生息し、よく似た環境に生息するヤマトオサガニ(その他無脊椎動物Cランク)と混生すること多い。甲幅は20mmほどになり、雄はやや「く」の字状に曲がった大きなハサミをもち、眼よりも高く「バンザイ」のように振り上げる。雄の第3歩脚の前節と腕節の前縁には毛が生えていることで近縁のヤマトオサガニと区別できるが、雌においては、本種がやや小型という点以外では形態的な識別は困難である。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

姫路市、たつの市、赤穂市、洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。主に播磨西部の開けた汽水域の軟泥干潟に生息し、ヤマトオサガニとともに見られることが多い。干潮時に溜まりや濬筋ではヤマトオサガニが優占するが、その周りの泥上に本種が見られることが多い。淡路島では中部にある干潟の狭い範囲に生息する。

保護上の留意点

本種の生息域は軟泥が厚く堆積した干潟であり、砂質化するとヤマトオサガニとともに生息は不適となる。河川改修や護岸工事によって生息域が直接破壊されない場合でも、離れた場所での離岸堤や突堤の築堤によって底質が変化することで、本種の生息に適さなくなるおそれがあるので注意が必要である。



写真提供：竹田正義



写真提供：西宮市貝類館

【執筆者】 増田修